

9月定例会の一般質問は、17日、18日の両日行われ、8名の議員が市政各般にわたり、一般質問を行いました。

市政を聞く 一般質問

一般質問の原稿は、各発言議員が作成しています。



池尾 正彦
議員

問① 新型インフルエンザ対策について、今後の課題は何か。

答 今回は弱毒性といわれるが、強毒性への変異や新たなインフルエンザの発生など、今後には備え、国や県の「新型インフルエンザ対策行動計画」を踏まえた、市の全庁的な体制により、市民生活の安全・安心の確保に努めるため、(1)市の段階的な対応対策、(2)情報の提供と共有、(3)予防と蔓延防止、(4)社会機能の維持についての行動計画を策定中である。

問② 有害鳥獣対策について。

答 鳥獣被害に対し、専門的・一元的に対応し、新たな対策の企画立案などを行うために、7月16日付で産業部農林水産課内に鳥獣害対策室を設置した。その取り組みとしては、市長もみずから被害地域の現地視察を行い、被害状況を把握した。次に、県の緩衝帯モデル事業の現地視察や猟友会への聞き取り等を行いながら、新たな対策の検討を行い、9月議会に約4,700万円の補正予算を上程した。



能登 恵子
議員

一、「平和市長会議」への参加を求める

問① 「平和市長会議」とは、広島市長が「世界都市が国境を越えて連携し、核兵器廃絶に向けた平和推進活動」を呼びかけたもの。今や、広島・長崎に落とされた原爆の約2千倍ともいわれる威力を持った原爆が世界に2万2千発も所有されていて、危機的状況と聞いている。プラハにおけるオバマ氏の演説に市長も応答している中、ぜひとも「平和市長会議」加盟し、発言つながりでない、中身の繋がりを持つつもりは無いのか。

答 議会と相談しながら積極的に考えたい。

二、「元気で長生き推進チーム」への提案

問① 食のまちづくりの小浜市が、健康寿命が県内では低位であることから、この推進チームが結成された。「小浜の保健」資料には第一の癌死、二位が心疾患、三位が脳血管疾患に変わり肺炎である。新型インフルエンザのワクチンも不足している中、肺炎球菌ワクチン接種を一つの手段として、市民みずからの健康管理意識の向上につなげないか。

答 抑制効果や他の自治体を参考に検討。



佐久間 博
議員

問① 小浜市の小中学校の学力テストの結果は。

答 福井県の総合成績は3年連続中学生が全国1位、小学生が2位で小浜市も上位である。

問② 夏休み実施の中学生の職場体験の概要は。

答 生徒たちの社会性を高めるとともに地域の事業所の暖かい受け入れが大変ありがたい。生きる力を身につくよう来年度も支援したい。

問③ 今年の観光地入りこみ数の減の対策は。

答 知名度を生かし今後は体験型観光の拡充や着地型観光の推進で交流人口の拡大を図る。

問④ おばまフィルムコミッションの役割は。

答 21年度9月現在24件のロケがあり、受け入れ体制の整備と魅力的なロケーションづくりを推進する。

問⑤ オバマ大統領が来日されれば本市の対応は。

答 ぜひ小浜市にお越し願いたと親書を渡した。

問⑥ 第5次総合計画1年前倒しの提案はどうか。

答 国の政権交代による政策転換、自治体との関係の方向性を見極めたい。第5次総合計画キーワードを「持続可能」と考えているまちづくりの方向性を市民に共有していただく意味でも、できるだけ早く策定したい。



下中 雅之
議員

問① 学校施設は避難場所として重要な位置づけであるが、高齢者など要援護者のトイレ利用を考えると、洋式トイレの有無が重要になるが、設置状況の現状と今後の計画を伺う。

答 市内15小中学校において、現在、洋式トイレが設置されていない学校は5校であり、現在、設置に向けて計画している。年内中には、市内全小中学校において、少なくとも1か所は洋式トイレを整備する予定。

問② 新型インフルエンザにおいて、重症化しやすい妊婦や乳幼児などの高リスク者対策は

どのようなになっているのか。

答 妊婦の方には、母子健康手帳交付時、妊婦セミナーで、乳児については新生児訪問、乳児健診、予防接種等で注意を促し症状が出た場合は早めに医療機関にかかることを呼びかけてきた。

問③ 新政権をにらみ対応会議や連絡会議を設けた自治体もあるが、小浜市の対応を伺う。

答 全庁的に協議、検討する必要がある課題については、緊急に20名で構成する部長会が開催できるよう準備もしている。



宮崎 治宇蔵
議員

問① 「つばき回廊」問題について。

答 昨年12月に「つばき回廊業務棟売買にかかる基本事項確認書」を取り交わして以来、新たな条件は提示されていない。予定どおり、本年度中に本契約を締結する。中心市街地活性化基本計画の国の認定については、第3セクター方式による「まちづくり会社」設立に向け取り組みを進める。3階部分については、市が取得できた後に、等価交換となるように努力していきたい。

問② JA前企業用地問題について。

答 日本電産シバウラとの契約については、損害賠償請求権の放棄ではなく、損害賠償請求権は発生せず、損害賠償の請求ができないことをことを確認したものである。

問③ 地域公民館の今後のあり方について。

答 地域のアイデンティティを確立、コミュニティを大切にしていくために、非常に重要な役割を果たしている。

問④ 地球温暖化対策について。

答 21年度において、個人の住宅用太陽光発電の普及促進のため、補助制度を創設した。



風呂 繁昭
議員

問① 小浜市の経済状況と財政について。県では経済影響55億円減収、小浜商工会議所では県制度融資の斡旋状況は、平成19年38件6億円であったが、平成20年81件16億6,000万円、運転資金がほとんどである。本市の経済状況は調査員を緊急雇用事業で雇用し、経済対策を考えてほしい。

答 生活応援プレミアム補助、関係機関と連携する。

問② 政権交代で地域主権国家へと転換方針の中、小浜版国家戦略会議の体制を整えておられるのか。

答 各部長、調整担当に調査研究を指示。

問③ 「知名度アップ若狭おばまについて」若狭おばまには発信力のある材料があり、全国的に発信すべきである食文化、産業、観光、ちりとして効果、オバマ大統領応援活動、世界遺産、山川登美子顕彰、重伝建等々、メディアは発信力のある豊かなおばまに関心をもち好意的である。プロジェクトチーム等組織体制創設を考え、今まではブランド戦略、今度は広報戦略を立て、知名度アップに力を注いでほしい。

答 職員の広報マインドの育成も必要。企画部に情報課を設置し、全庁体制で情報発信に努める。



三木 尚
議員

市長の所信表明から問う、行政全般について

問① 松崎市長が就任されて1年が経過したが、市長の目指す当市の明確な未来像は、観光局とは、観光都市への課題は。

問② 食の街づくりは今後も積極的に取り組むのか。

問③ 鯉川シーサイドパークの年間を通じた有効利用について

問④ 小浜第1保育園と第2保育園の統廃合と小浜幼稚園の連携とは、認定こども園の設立とは。

問⑤ 健康寿命の向上のために「元気で長生き推進チームを設置する」とあるが具体策と目

標年限について

問⑥ 新型インフルエンザへの対応は万全か

問⑦ 「市長と語る夢トーク」具体的な成果は、今後のあり方について理事者の答弁を求める。

答弁は割愛しますが、「観光局について、初めに役所と民間が一丸となって種々のアイデアを集め、そこから取捨選択して戦略的な街づくりに取り掛かるべきである、その過程こそが一番重要である、そういう過程を経ないでいきなり箱物を建てるとそれだけで終わってしまう恐れがある」と提言する。



松崎 圭一郎
議員

問① 新型インフルエンザへの対応について、ヘモフィルスインフルエンザ菌b型（細菌性髄膜炎）疾病についてもワクチンが必要であるが、この対応もままならぬ状況下、今冬パンデミックの恐れがある新型インフルエンザへのワクチン対策は。

答 国や県の行動計画を踏まえ、感染防止の基本事項の徹底を図ることに専念する。

意見 結局は国や県の対応待ちのように思えるが、住民の生命の安心安全を守るのは、住民に一番身近な末端行政の市であり、それは当

然の義務である。今後、亜種の感染症の流行も懸念される中において、食も命あつてのこと、地に足の着いた的確な施策が望まれる。

問② 新政権下での特定失踪者への対応について、今や拉致問題は、人権侵害の域を超えて国を揺るがす主権侵害である。市は、この事実をしっかりと見据えて、不協和音が聞こえる新政権に対し、どのような考えをお持ちか。

答 党派を超えた国家的課題であり、政府与野党を問わず、国の責任として進めるべきと考える。

携帯電話から議会ホームページがアクセスできます。

次回の議会日程や一般質問通告一覧など、パソコンでなくても議会情報を見ることができるようになりました。

載せてほしいという情報がありましたらお気軽にご意見をお寄せください。



URL はここから →

ケータイで
議会情報をGet!!

